※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（教育図書）						
副教材等	「硬筆レッスン帳」（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　「書を愛好する心情を育てる」という観点から小・中学校で学んだ書写力を基礎とし、より効果的に表現するための基礎的な技能を学びます。
・　毛筆の特性や技法を学び、主体的に作品制作に取り組み、表現できるようになることをめざします。
・　鑑賞指導において、身近に飾れる書作品をつくること、教科書の活用、書道展を活用するなどして、書に関する幅広い見方・考え方を育み、書を愛好する心情を育てることを目指します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	・オリエンテーション ・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。	a:小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している（知） b: c:芸術科書道の学習に関心をもち、これまでの書写の学習をふまえ、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。（鑑）	プリント	プリント	振り返り プリント 観察
	書体の変遷	・漢字の変遷について理解する。 ・様々な書体を知る。	a:日本及び中国等の漢字の書体の変遷について理解している（知） b:漢字の文字の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えたりしている。（鑑） c: 主体的に漢字の書の幅広い学習活動に取り組もうとしている。主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	漢字の書	楷書の学習 ・唐の四大家の作品を通して楷書の特徴を理解する。 ・古典臨書を通じて、筆の弾力を生かした用筆を理解する。 「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作)	a:楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。(技) b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。（思） b:楷書の古典の価値やその根拠について考え、よさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c: 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。　（鑑） c:主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

2学期	漢字の書	行書の学習 ・楷書と比較して、行書の主な特徴を理解する。 ・行書の用筆・運筆の技法を習得する。 「蘭亭序」「風信帖」 「集王聖教序」 「争坐位文稿」 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、題材を選定し工夫しながら、表現する。(創作)	a: 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、漢字を表現する技法を身につけている（技） b: 行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成について構想し工夫している。（技） b:漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。（鑑） c:主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫しながら表現する。(創作) 「生活の中の書」「はがき」	a：漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。（知） a:用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解し、効果的な表現の技法を身につけている。（技） b:意図に基づいた表現について構想し工夫している。（思） b:生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

3学期	仮名の書	・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・いろは歌	a:仮名の成立について変遷について理解している。（知） a:古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質や書風について理解している。（知） a:古筆に基づく連綿と単体、字形を生かし表現するための技法を身につけている。（技） b:仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。（思）（鑑） c:主体的に仮名の書の幅広い表現活動に取り組もうとしている。（主）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
		・仮名の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作) 「蓬莱切」 「高野切第三種」	a: 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質を理解し、「高野切第三種」の書風について理解している。 古筆に基づく基本的な連綿と単体、字形を生かした表現するための技法を身につけている。 b:古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体構成について構想し工夫している。また、古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現活動に取り組もうとしている。主体的に仮名の書の幅広い鑑賞活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度